

● **ミカン農家収穫ボランティア 3日(土) 21人参加 こども3人** 素晴らしい天気にも恵まれました。集合された皆さんは村田さんから作業内容を説明いただき、すでにミカン畑で作業を開始されました。今年は裏作の不作で、加えてアライグマが昨年以上にミカンを食べてしまいました。そしてイノシシがミカン畑をほり起こしています。これを見ただけでも畑には、かなりの負荷がかかっていることがわかります。畑をざっと見て21人も一斉に作業をすると1時間で終了できると判断しました。皆さん疲れた様子も見せないで一気に作業を進めていきます。見ているうちにきれいに取りつくしていきます。例年では、半日で半分ほどの収穫になりますが、今年はスピードが違いました。早生や晩生という収穫時期をずらして栽培されているので、美味しくなる収穫期が人工的に調整されているので、もぎ取ったミカンのよりわけに時間がかかります。ミカンの木ごとに分けて収穫しなければなりません。そしてへその部分の残り枝を鋏でなるべく短く切りそろえなければ傷が付き腐ってしまいます。かなり丁寧に摘み取っていただきました。11時30分には大部分取りつくしました。最後に鈴なりの木に全員が集まって一気に仕上げました。子どもたちも疲れた様子も見せないで頑張ってくれました。最後の作業だから20個を5分でとれるかと挑戦です。次には4分ではどうか、最後に3分でと少しはっぱをかけてみました。だんだん取り方の腕が上がって、3分でもとれるように上達しました。奥さんと近所の友人の奥さんが心を込めて作っていただいたぜんざいを何杯も頂戴して満足です。お土産も沢山頂戴して2時間の作業で解散となりました。ごくろうさまでした。

● **河川基金 100万円の申請**について、先号には手続きの苦労を述べました。今回は開催日を2017年8月19日として「京都府こどもの水辺交流発表会」を淀川の三川合流地に完成する施設を使用する予定ですが、これまでの9回と10回目の取組みは、1年間、川で取り組んできた活動を発表し、それを聞いて学び、感想や質問を述べて深め合い交流を図るのが狙いでした。しかし現地での実践体験には時間的と人数規模に難しさがありました。又若手大学生を中心にして企画と当日の進行をゆだねてきました。そして予算面では大規模な会場使用で巨額となりました。子供たちの交通費を負担する等としてきました。以上が問題点でした。10年以上の繰り返しから、新しい出発が必要とのことで、開催地を府県段階という方向をもって解散となりました。京都では三川合流センターを会場として開催することになり、とりあえずやましろ里山の会が助成金の申請を行うことになりました。さて申請内容はカヌー、水生生物、野鳥、昆虫、植物を現地調査して、それを発表する企画案で申請いたしました。運営ではこれまで通り若手・学生の皆さんを中心に進行を図れればと思います。具体的な取り組みはあくまで助成が確定(4月上旬)してからになります。とりあえず申請内容の一端の紹介をさせていただきました。

● **夏原クランドの助成金を受けた団体の実績発表会** 4日草津市立街づくりセンターで約100人弱が集まる。これまで里山の会は2度ほど助成金申請を行いましたが、2回とも落選しました。自然保護に向かっているとなつていきますので、里山の会はバッチリ大丈夫と自信があつたのですが、思うようには進みませんね。そこで実態を知っておこうと出席しました。11日に宇治市でも説明会が予定されているので申請書を書き上げて、相談会に参加し、助言を受けるつもりです。あいにくこの日は京都府の環境フェスタとだぶりますので、少し日程的に窮屈になりそうです。里山農園周辺整備事業として申請の予定です。

● **自然環境保全京都府ネットワーク第4回設立準備会開かれる**(5日、平安ホテルの金閣の間、8団体が出席、呼びかけすべき66団体がおられるらしい)、第1回目を7月に開催されて始まり、4回目の今回は、名称や規約、役員体制、設立総会の日程とシンポジウムについて、そして年間活動計画や予算について方向性を明確にして原案を練り上げました。舞鶴の青葉山、福知山、京北そして京都市、乙訓、山城から参加がありました。ベニバナヤマシャクヤク、アユモドキ、など希少種の保存団体がおられます。会長や副会長など出席者全員が何らかの世話役に受け持つことを前提に体制を検討しました。予算案のうち、団体会費や個人会費について論議が深められました。設立総会を2月25日と決定、さらに交流や

情報の共有を図ること、事業企画も話し合われました。

● **東駐車場 第1次ゴミ拾い清掃作業** 約30分 深田、中西、北波、森島、青代、山村、黒光さんが参加され、桑の木の伐採かたづけとゴミ拾いが行われました。4日のミカン農家へのボランティアが早く終わったので、帰り路に山城大橋陽が東詰め下の広場のゴミ拾いに6人が参加いただきました。2月5日に第34回目の京都木津川マラソン大会が開催されるので、駐車場予定地の草刈りを行って、桑の木の後片付けを手伝っていただきました。昨年はものすごいゴミが山のように散らかっていました。昨年に比べるとかなり住民や学生の皆さんのマナーが随分とよくなっているように見られます。それで30分ほどでゴミ拾いが完了してきれいになりました。ご参加いただきました皆様大変ご苦労様でした。

● **京田辺市主催の少年の主張**が4日に行われ中西康太君(普賢寺小学校6年生)が里山の会に参加や木津川での取り組みに参加しての感想を中心に発表されました。そこで訴えたのは川や山、自然の大切さを学んだこと、そして地域の人々との連携の大切さや共同の大切さを訴えました。講評では地域の人々に支えられ支えあうことの大切さの主張に高い評価がされたとのこと。次の段階で綴喜郡の主張大会は八幡市で新年に開催されますが、その場にも京田辺市の代表として発表予定です。実は京田辺市の市政20周年記念事業についてのロゴマークの募集にも康太君の作品が採用されました。おめでとう!!!

● **京田辺市市制移行20周年記念**にふさわしい事業が公募されました。里山の会事務局で応募を決めました。具体的な提案は4つほどの取り組みが考えられます。会員の皆さんからのご提案が頂ければありがたいところです。事業補助金は20万円が予定されているようです。

● **12月師走になりました。**木の葉もどんどん散って落ち葉が重なり始めています。里山農園観察棟のエノキの歯もすっかり落ちてしまい残り少なくなりました。オオムラサキの幼虫は落ち葉の中に逃げ込んで越冬体制に入らなければなりません。普段木の葉の茂っているところでは保護色なので見つけにくいので、だれでも発見が容易なのは、エノキの落ち葉にくっ付いている幼虫を見つけることです。今年も桜谷先生のご指導を得て冬の昆虫観察会を行います。

● **京都府2016環境フェスタが10・11日(ど、日)開催されます。**里山の会は10年連続で参加いたします。展示発表では竹蛇籠の取組や魚とりなどの活動を紹介します。体験コーナーでは松かさツリーづくりを提供いたします。そしてミニステージ発表では河川レンジャーの小林慧人君と橋口君が研究成果を発表します。10日は13:00から11日は15:00から行います。そして11日のミニステージ発表のトリを中西康太君の「少年の主張を発表」を予定しています。多くのちびっこにもご父兄と環境に関心を持っておられるフェスタ参加の皆さんにもお聞きいただければ大変うれしいところです。ご聴取をお願いいたします。

冬の昆虫観察会

参加者募集中

国蝶 オオムラサキの幼虫観察

カスミサンショウウオの棲みか調査

指導 桜谷保之先生 前近畿大学教授

集合 12月17日(土) 午前10時 普賢寺小学校前

解散予定 ①12時 ②14時30分(弁当持参)

服装 持ち物 長靴 手袋 帽子 水筒 カメラ 筆記具

小学生以下は保護者同伴

炭焼き体験原木から切り出し

里山農園周辺の樹木を切出す作業

なら枯れ木ノ切出し 玉切り 運び出し 小枝始末

日時 12月17・18日 10時~14時

集合 普賢寺小学校前 または里山農園

持ち物 手袋 しっかりした靴 帽子 のこぎり

用意できればチエンソー

小学生以下は保護者同伴

餅つき体験と しめ縄づくり 体験希望者募集

12月25日(日) 10時集合 順次ついてゆく 13:00 しめ縄づくり

場 所 聴覚障害者支援センター さんさん作業所

参加費 大人500円 子ども200円 搗き立ての餅ち食べ比べ 黄粉餅 餡餅 おろし大根 醤油餅など

餅つき希望 つき賃:1升(1.6kg) 400円が単位、(洗ったもち米・持参) 予約制 0774-64-4283

しめ縄 参加費無料 作品は持ち帰り